

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	必修
担当教員			
長田 律子、寺田 准子、兼田 啓子			
月3、4			
添付ファイル			

科目の概要	在宅療養者とその家族が、住み慣れた地域で生活することを支える在宅看護技術について基本的な知識を学ぶ。事例を通して、在宅療養者と家族の望みや希望を捉えた上で健康課題のアセスメントを行い、強みを活用した援助について考える能力を養う。
授業の内容	<p>1回目 ①オリエンテーション ②在宅看護の目的、基本的理念 ③看護過程1) 情報収集 シラバスを事前に読んでおくこと</p> <p>2回目 看護過程2) 情報の整理 情報収集を実施した上で参加すること 事例の疾患、治療、看護について学習し、資料や参考書を準備した上で参加すること</p> <p>3回目 家庭訪問演習 初回訪問ロールプレイ 各クラス2グループに分かれて実施する Aポータル資料から自分の演習日時、事前学習、準備、服装等を確認しておくこと 在宅看護学援助論初回授業資料を復習しておくこと</p> <p>4回目 看護過程3) アセスメント 情報の整理を実施した上で参加すること 事例の疾患、治療、看護について学習し、資料や参考書を準備した上で参加すること</p> <p>5回目 看護過程4) 関連図 アセスメントを実施した上で参加すること。 事例の疾患、治療、看護について学習し、資料や参考書を準備した上で参加すること</p> <p>6回目 ①在宅酸素療法デモンストレーション②呼吸に関する在宅看護と医療管理1 各クラス2グループに分かれ45分交替で①②を実施 Aポータル資料から自分の演習日時、準備、服装等を確認しておくこと ①帝人ファーマシー(株)の協力を得てデモンストレーションを行う ②教科書第4章⑥⑦⑧⑨⑩を事前に読むこと</p> <p>7回目 呼吸に関する在宅看護と医療管理2 教科書第4章⑦⑧⑨⑩を事前に読み、第6回目の復習しておくこと</p> <p>8回目 看護過程5) 課題の抽出と2次アセスメント 関連図を作成した上で参加すること 在宅看護過程の中間提出(提出日時、ファイリングや提出方法等の指示はAポータルに記載する)</p> <p>9回目 在宅看護技術演習計画立案(グループワーク)(9.10連続) 計画立案に関する準備等の指示はAポータルに記載するので確認の上、参加すること</p> <p>10回目 在宅看護技術演習計画立案(グループワーク)</p> <p>11回目 在宅看護学技術演習(グループ演習)(11・12連続) 各クラス分かれて実施する。Aポータル資料から自分の演習日時準備、服装等について確認しておくこと 演習計画に基づいて技術演習を実施する</p> <p>12回目 在宅看護学技術演習振り返り(グループ演習)</p> <p>13回目 看護過程6) 看護過程の修正 中間提出した在宅看護過程の返却と指導 修正できる準備をして参加する</p> <p>14回目 看護過程7) 看護計画の立案 指導に沿って看護過程を修正した上で参加すること</p> <p>15回目 看護過程8) 評価、まとめ 計画立案を行った上で参加すること</p>
学習到達目標	<p>①在宅療養者、家族のセルフケア能力を活かし、家族の状況や環境を考慮した日常生活の援助技術を理解することができる。</p> <p>②在宅看護過程の特徴を理解し、在宅療養者と家族の望みや希望を捉えた看護過程の展開ができる。</p> <p>③医療依存度の高い在宅療養者の看護を理解することができる。</p>
授業の方法	看護過程は事例に基づき個人で在宅看護計画立案まで行う。技術演習、家庭訪問演習はグループでの演習を行う。呼吸に関する在宅看護と医療管理では、講義とデモンストレーション(在宅酸素療法・在宅人工呼吸器療法)を実施する。
成績評価の方法	看護過程展開記録50点、援助技術演習20点、初回訪問ロールプレイ10点、呼吸管理デモンストレーションのレポート10点、授業参加態度10点
教科書・テキスト	ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 臺有桂、石田千絵、山下留理子編

参考書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア 臺有桂、石田千絵、山下留理子編
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	授業は前回の課題が終了している前提で行うので必ず実施した上で参加してください。学習状況によっては課題提出を中間提出以外に指示します。いつでも出せる状況であるように毎回の課題を行っておくこと。
履修上の留意事項	老年看護学や在宅看護学概論で学習した高齢者の身体的・精神的特徴を再度学習しておくこと。日々、Aポータルをチェックし、変更等の連絡が無いかチェックしておくこと。
オフィスアワー	金曜日12時～13時、16時～17時 （4年生の実習指導のため不在であることが多いです。連絡後に来られることが望ましいです。） 看護過程、授業全般については長田まで 家庭訪問のロールプレイについては寺田・兼田まで
課題に対するフィードバックの方法	共有すべき内容はAポータルや授業でフィードバックする。 個別についてはレポートのコメントやメール等で対応を行う。
実務経験	長田：訪問看護師、訪問看護ステーション管理者
その他	在宅看護学援助論と関連させて学習してください。